



JARL 青森県支部報

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
青森県支部

発行人：平川 正敏 JR7GBL
編集人：成田 賢治 JA7GUX
編集人：安斎三津夫 JA7CUA



ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
青森県支部

支部長 (JR7GBL)
平川 正敏



ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
東北地方本部

本部長 (JA7AJH)
尾形 和俊

JARL 青森県支部報の発行にあたりご挨拶申し上げます。
県支部会員の皆様におかれましては益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。日頃より支部活動にご支援ご協力を賜ります会員の皆様、支部登録クラブ各位、県支部役員の皆様に心からお礼申し上げます。

さて、高尾義則・JARL 会長 (JG1KTC) の新体制がスタートして1年が過ぎました。JARL 会員の減少に歯止めをかけるための会員増強運動、「青少年お試し入会キャンペーン」等々の方針のもと、県支部としても「技術講習会」、「特別局運用」、「県防災訓練へ参加」、「県支部主催コンテストの継続開催」、「何でも相談室実施」などを推進して参りましたが、現状は意に反して長期に渡る会員減少が続いています。

今後は、限られた支部予算の中で、支部事業の見直しに取り組み、会員増加に向けた仕掛け作りが課題と考えています。JARL 会員の如何を問わずハム仲間との交流の場づくりを目的とする PC・Web 活用、関連ソフト導入やスマホ対応など多様なニーズに応える「何でも相談室」の定期開催などを目指します。また、県支部 H.P. を活用した「アマチュア無線の多様な楽しみ方の追求」も1つのポイントと考えています。どうぞ、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

「第45回 JARL 青森県支部大会・ハムの集い」は9月17日(日)、平川市のホテル・アップランド南田温泉で開催されます。当日は県支部大会、支部コンテスト表彰、記念講演会、クラブ局公開運用、ジャンクコーナー、お楽しみ抽選会などを実施します。また、前日16日(土)午後6時から前夜祭・懇親会を同会場で開催しますので、支部会員・ハム仲間各位のご参加をお待ちしております。

会員の皆様方におかれましては益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は JARL 青森県支部事業にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。JARL 前会長でもあり、前東北地方本部長である JA7AIW・山之内俊彦様からバトンタッチして1年が過ぎました。山之内前会長、地方本部役員、各県支部長皆々様のアドバイスを頂き、大任を務めることが出来ました。不慣れでいろいろとご迷惑をお掛けしますが、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、JARL は会員減少に歯止めをかけるためこの数年、アマチュア無線活動と会員の増強運動に努めて参りました。「青少年お試し入会キャンペーン」「催事限定入会金免除キャンペーン」、そして今年から「賛助会員とライフメンバー会費の加入・継続率の拡大」などを実施しています。前会長からも現役で活動する会員の退会を極力少なくすること、その昔「キングオブホビー」と言われたアマチュア無線の基本を学ぶ場としての「面白い JARL」「技術を学べる JARL」「奉仕の JARL」を基本的理念とする JARL の再生、そして会員の増強・育成に取り組んで欲しいとご提言を頂いています。東北地方本部は各県支部のご協力を頂き、アマチュア無線のニューカマーを育てる努力を最優先にしたいと考えています。

来年2018年3月11日(日)、仙台市国際センターにおいて「東北復興アマチュア無線フェスティバル」を開催します。東日本大震災発生から来年で「7年」が経ちます。「7エリア」と数字の縁を重ね、かねてから会員の皆様より要望がありました「ハムフェア」を開催し、アマチュア無線の普及と PR に努め、JARL 会員増強に取り組みます。東北では初めての開催となりますので、大勢の参加者をお待ちしています。

第45回 JARL 青森県支部大会・ハムの集い 「JARL NEWS 夏号」、県支部 HP を参照下さい

【県支部大会】

- 日 時 平成 29 年 9 月 17 日(日)10:00 開場
- 場 所 ホテル・アップランド南田温泉 (平川市町居南田 66 ☎0172-44-3711)
- 次 第 10:00 ・開場 (公開運用、展示コーナー、ジャンク市など)
- 12:30 ・開会あいさつ (青森県支部長)
- ・ご祝辞 (JARL 会長、東北地方本部長、渡島檜山支部長、平川市長)
- 13:00 ・津軽海峡コンテスト表彰、オール青森コンテスト表彰
- 13:30 ・前年度事業報告、同収支決算報告、新年度事業計画説明、同収支予算説明
- 13:50 ・記念講演会「移動運用セミナー&JARL の現状と最近の取り組み」
講師：JARL 会長・高尾義則氏 (JG1KTC)
- 14:50 ・記念撮影、お楽しみ抽選会

- その他 ・記念写真の販売はありません (支部HP掲載の画像データを自由にしてください)
- ・昼食 (お茶付き弁当 1,200 円税込み) は事前予約が必要
- ・ジャンク、展示等のブース利用は無料 (事前連絡は9月11日必着)

○連絡先 ・eMAIL : ja7gux@jomon.ne.jp

【前夜祭・懇親会】

- 日 時 ・平成 29 年 9 月 16 日(土)18:00~
- 場 所 ・ホテル・アップランド南田温泉 2 階宴会室
- 会 費 ・宿泊&懇親会 1 人 13,000 円 / 懇親会のみ 1 人 8,000 円 ※事前申込み、当日徴収
- 締 切 ・9 月 11 日 (月) 必着
- 申 込 ・eMAIL : jr7gbl@jarl.com / 葉書 : 〒038-1141 田舎館村川部上西田 124-4 県支部長・平川



高尾会長(左)からトロフィーを受け取る平川支部長(県支部大会・昨年9月)



CQ 誌に連載中の「新移動運用セミナー」

JARL 青森県支部登録クラブの近況

南部アマチュア無線クラブ

若い新メンバーも加わり(写真)、世代交代の準備を始めたJE7YSH南部アマチュア無線クラブです。

地域の防災への参加、コンテスト参加に努めていきたいと思ひます。メンバーの増加はなかなか?ですが、活動を通じてアマチュア無線をアピール出来たらと考えています。各クラブ局の皆様も大変でしょうが、一緒にJARL青森県支部を盛り上げていきましょう。 会長 JN7SYU 佐々木豊満



弘前アマチュア無線クラブ

JA7YBA メンバーは 19 人に減りましたが、JA7AXP 川村敏男会長のもと体制を一新して 2 年目の 7 月 23 日、弘前市まちなか情報センターで JT65 公開運用と通常総会を開きました。(写真は総会後の懇親会)

総会では、県支部主催の 2 コンテストとニューイヤーパーティー参加を活動の柱に据え、県支部大会などでの公開運用や無線なんでも相談室開催を決めました。これまでに、登録済みの古い無線機を新スプリアス基準に対応した機種に更新してハード面を整えました。さらに新たな QSL カードを制作発行、国際的な電子 QSL 認証システム「eQSL」に対応しました。また、広報活動強化の一環として世界最大規模の無線局データベース「QRZ.COM」にも登録するなど、ソフト面も充実させました。

実施事業それぞれで知識や経験を持つメンバーが担当を務め、それぞれの技能を生かした活動を地道に続けています。

事務局 JK7LXU 石岡洋一



JARL 青森クラブ

4 月 15 日に総会、懇親会を開催。同 29 日は芋煮会と称して「観桜会」を三内霊園内の広場で開催の予定でしたが、今年もあいにくの雨天で事務局長宅に変更、7 人の参加でした。二年続けて悪天候とは。来年に期待するところです。

5 月 28 日は、青函連絡船メモリアムシップ八甲田丸で「電波の日」記念公開運用を実施

参加 10 局。7 月 17~18 日は同じ八甲田丸で「海の日」記念公開運用を実施。今後の予定は 9 月 17 日に平川市で開催される県支部大会への参加協力、同 30 日~1 日に旧平館村の「oh おだいば」で恒例の移動運用、12 月 2 日(土)の「年忘れミーティング(忘年会)」の開催です。

他に津軽海峡コンテストとオール青森コンテストへの参加、毎週水曜日午後 8 時からのロールコール、機関誌「じょんがら」の毎月発行、「ねぶたアワード」発行を行っています。「じょんがら」は 8 月号で第 443 号、ロールコールは 7 月 19 日で第 1761 回になりました。

ただ、諸行事への参加者が年々少なくなって、活性化が重要な課題です。

会長 JA7BUZ 山本俊行



アマチュア無線十和田クラブ

アマチュア無線を楽しんでいる皆さん、こんにちは。無線人口が少なくなる中、十和田地区でもハム人口を増やそうと頑張っていますが、JA7YAZ 構成員はついに 30 人を割ってしまいました。

現在のメンバーも平均年齢が高く、年間の活動行事を決めるものの、移動運用や行事に腰が重く、積極的な活動が出来ていません。そんな中でも毎年 5 月下旬、県内で最初に開催される十和田市総合防災訓練には、日赤アマチュア無線奉仕団十和田分団として 13 名が参加(写真)。各移動局から随時入電する仮想被災状況の情報や、現地災害対策本部との通信訓練のようすを、統監である十和田市長に視察して頂きました。

また、9 月 23 日(土)・24 日(日)には「あおもり 10 市大祭典 in 十和田」が、「日本の道百選・青森県十和田市官庁街通り」を会場に開催されます。当クラブでは記念 QSL カードを発行しますので、各局は楽しみにお待ち下さい。

会長 JM7GEB 小林関則



八戸アマチュア無線クラブ

4 月の総会で事業計画に①施設見学会、技術講習会、製作会の開催、②社団局 JA7YFO の運用、③日赤奉仕団、電波適正使用などの活動への支援、協力一など

を盛り込みました。実現できずにいる項目もありますが、新たに取り組んだ活動もあります。

オール青森コンテストの終了時に懇親バーベキューを企画しました(写真)。当日は豪雨で参加者が少なかったのは残念でした。また、4 アマ講習会の終了後、希望者を対象にニューカマー講習会「初心者のためのオリエンテーション」を初めて企画しました。初心者が戸惑いがちな通話表やシグナルレポート、144MHz での運用方法などについて説明しました。無線仲間を増やすためにも、この種の活動は継続したいと思ひます。

会員の高齢化も進み、活動の活性化が当クラブの直面する課題です。ロールコールの復活も検討課題に上がっています。

会長 JL7GNT 大向富美郎



三沢アマチュア無線クラブ

JA7YRW の活動は年初の 2 月 18 日、定期総会を小笠原食堂「とわだっ湖」で 9 局が参加して開催。すべての議案が原案通り参加者全員の賛同で承認されました。

その後、恒例の懇親会でお互いの近況報告、無線活動などの話題で楽しい時間を過ごしました(写真)。今年のロールコール皆勤賞は JH7FVD、JG7NGA、JF7COF、JR7AWQ、JH6TSK、JA7DHz、JG7NZK の 7 局が受賞しました。3 月 5 日、三沢航空科学館で開催された「ファミリー電波教室」は、電波の勉強とラジオ組立に家族連れ 45 人が参加。当クラブから応援に JA7DHz、JK7LAM、JF7COF、JR7AWQ の 4 局が駆け付けました。

一方、クラブ副会長として永らくご尽力された JA7NHS 吉田守氏が永眠され、今後の活動への影響を危惧しています。若手会員の新加入がないままに、現在の登録会員 13 名の高齢化が進み「老人アマチュア無線クラブ」になりつつあります。JARL 登録クラブとして無線啓発活動に対して満足できる協力が出来なくなってきました。地域クラブの活動に対して永い目でご支援をお願い致します。

会長 JR7AWQ 五十嵐行夫



五戸地方アマチュア無線クラブ

今年も津軽海峡コンテストに併せ、空中線常設場所(写真)で定時総会を開催。事業計画、予算が原案通り承認され活動がスタートした。

事業計画は津軽海峡コンテスト、オール青森コンテストなどで社団局JR7ZDFの移動運用、モービルハイキング、新年アイボールQSOなどである。モービルハイキングは毎年計画されているが実行されていない。今年も平川市で開催される県支部大会に、クラブ行事として移動で参加することにしているが…?

総会后、恒例のアウトドア料理で懇親を深めた。盛況のあまり社団局を運用するオペレータがいなく、過去最低の交信局数でコンテストのログを提出した。依然として伝統である“無線よりアルコール”が継続中である。

設立当初から移動運用で毎年順次、五戸地方3町村から全国にサービスしてきた。会員の高齢化に伴い、ひばり野運動公園近くのメンバー所有の遊休地に常設アンテナを設置した。会員は年々減少し、常に活動しているのは5、6名であるが、今後も地域クラブの継続的活動に努力していきたい。皆様のご指導ご協力をお願いします。 会長 JH7ULY 川崎謙司



津軽スカイクラブ

JARLでは最近、会員増強や青少年育成で、活性化に向け多彩な運動をしているところですが、ご多分に漏れず”ロートル化”した当クラブは、相変わらず創立以来(今年で44年目)四本柱の行事を淡々と行っています。

①総会、②フィールドデー参加、③新年会。そして④毎週木曜日のロールコールですが、今年5月の総会后(写真)、開始時間を20時に変更しました。平均年齢のUPに伴い、従来の21時開始だと”キツク”なってきたようです。Hi

メンバーの中にJAコールが9人いますが、構成員全体では1アマ4人、2アマ3人、3アマ4人、4アマ4人で、約70%がCWライセンス持ちです。昨今、業務用通信でCWによる通信が無くなりつつあり、かのマルコニーも草葉の陰で嘆いている事かと思いますが、このCW符号を「ユネスコの無形文化遺産」という運動が行われています。各局におかれましては、アマチュア無線の原点といわれるCW資格取得に向け、”ひと踏ん張り”してみませんか? 事務局 JA7CUA 安斎三津夫



オール青森DX Ass'n

オール青森DXアソシエーション(AADXA)はHF・DX通信およびアマチュア無線技術に関する各種調査、研究を行い、かつ会員相互の友好増進を目的として昭和51年(1976年)10月に発足しました。創立40周年を迎えた昨年は「記念講演会」を開催、同11月にはKH2グアム島からクラブとして初の海外運用を行い(写真)、日本国内外の多くの無線家と交信しました。また、これまでの歩み一つにまとめた記念誌をCD版で発行、友好クラブ局に配布しました。

発足当初から発行している会報「AADXA BULLETIN」も最近ネット配信、本年7月号で490号になりました。東、西2地区持回りで春秋2回Meetingを開催、メンバーの親睦を深めています。最近DXCCの「Honor Roll」が相次いで誕生、CQ誌のDX「Ace of Aces」も2年連続で受賞、流行のJT65等の新モードにもいち早く取り組んでいます。今年10月に再びKH2へ遠征に出かけます。多数の局からのお声掛けをお願いします。 事務局 JH7BVH 高田栄吉



CQ津軽ハムクラブ

皆さんこんにちは、CQ津軽ハムクラブです。我がクラブでは今年も順調に一つ平均年齢が上がりました。結成当初は「移動・焼き肉・生ビール」の3点セットがあれば、いつでも何処へでも出かけたのですが、最近はそのも行かず、注文が多くなりました。

その代わりに、かつて岩木山八合目の駐車場で入れ替わり立ち代わりやって来て、60%の樽生ビールを空にした豪の者達も、今では薄めの芋焼酎のお湯割りで顔を赤くしています。メンバーの無線に対する向き合い方もそれぞれで、暇さえあれば移動してHFなどで頑張っている者、移動運用ならぬ「移動飲用」専門の者と、二つのパターンに別れてきました。これから更にどのように変化して行くか興味津々といったところです。

来年は弘前公園での観桜会100周年という事で、特別局運用が計画されています。我がクラブも是非に参加して、運用の一翼を担いたいと思います。聞こえましたら是非お声掛け下さい。 会長 JF7PFW 加藤全健



BeFMアマチュア無線クラブ

BeFM コミュニティラジオ局内で3月、クラブ会議を開きました。今後の活動方針のなかで重要議題である八戸市制88周年JARL特別局の運用について審議、開局申請することを決定しました。会議終了後、場所を移動して懇親会を開催、日頃使用している無線マイクをカラオケマイクに持ち替え「メリット5」で発声、親睦を深めました。

特別局8J7H88Yが6月1日に許可され、3日に特別局常置場所にリグをセット、開設運用キックオフを行いました。写真はクラブシャック内に設置したHFリグとメンバーです(八戸市八日町8番BeFM内)。6月25日現在300局を超える交信に成功しています。運用は9月30日まで。3アマ以上の資格があれば9月4日以降、メンバー以外の運用が可能です。事務局までお申込み下さい。

事務局 JA7BLS 田端大資



日赤アマチュア無線奉仕団

当クラブは昭和45年5月に発足した特殊奉仕団です。青森、弘前、十和田、八戸、三沢、むつ下北、五戸の各分団で構成、災害発生時に趣味のアマチュア無線を生かし、情報の伝達をはじめ赤十字活動を通して奉仕する事を目的として設立されました。

日頃の活動はアマチュア無線による感度交換訓練を各分団で実施、各分団員との定例交信、各種防災訓練への参加、赤十字活動で行われる救急法・炊き出し訓練参加、研修会などを行っています。最近では東日本大震災の反省を踏まえ、近県のアマチュア無線奉仕団との連携を構築するなどしています。

活動に興味がある局は、メールで jg7saf@jarl.com、または FAX(0172-53-5802)で、お住まいの地域、コールサイン、お名前と連絡先をお知らせ下さい。

事務局 JG7SAF 工藤眞己

三戸アマチュア無線愛好会

皆さんこんにちは、JE7ZCO三戸アマチュア無線愛好会です。発足して2年に満たず、県支部登録クラブでは最も新しいクラブです。当愛好会の年間目標は県支部主催コンテストおよび各行事への参加、各種アワードの移動サービス運用(HF帯、三戸郡下、岩手県北)です。

今年の津軽海峡コンテストは参加点ぎりぎりの交信でした。メンバーの諸事情で運用人数も少ないですが、コールサインが聞こえていましたらQSOをお願いします。 会長 JL7SFU 徳田勝正

JARL 青森県支部・渡島檜山支部共催「第15回津軽海峡コンテスト」結果

(2017年5月13日~14日実施)

Table with 5 columns showing contest results for various categories like '管内局', '個人・マルチの部', '★JA7YYM/7', '個人・430MHzの部', and '★JA7UFG'. Includes a '★印は入賞局' note.

※入賞局のみ掲載

◇第11回オール青森コンテスト 入賞局◇

(2017年7月15日~16日実施)

Table with 5 columns showing contest results for '県内局', '県外局', and '通信の部'. Includes a note: '※入賞局は9月17日(日)の県支部大会で表彰します。'

平成28年度 青森県支部事業 報告

平成29年度 青森県支部事業 計画

Table with 4 columns: 行, 事, 年月日, 記. Lists activities for the 28th year.

Table with 4 columns: 行, 事, 年月日, 記. Lists activities for the 29th year.

Table titled '青森県全市町村交信賞発行状況' showing award statistics for various municipalities.

Table titled '平成29年度 JARL青森県支部役員' listing the names and positions of the committee members.

Table titled '平成28年度 県支部収支決算' showing financial statements for the 28th year.

Table titled '平成29年度 県支部収支予算' showing financial statements for the 29th year.

Table titled 'JARL青森県支部登録クラブ' listing registered clubs and their representatives.

◇JARLガイダンス局運用報告

(青森県支部監査指導委員会)

Table with 4 columns: 地区, FM, 宇宙通信, 業務通信. Reports on guidance station operations for弘前, むつ, and 八戸 regions.

Text reports on guidance station operations, including dates, locations, and observations regarding signal quality and usage.

◇平成29年度 監査指導委員◇

Table listing the names and positions of the 2019 audit and guidance committee members.